

DOCTOR'S LABORATORY











BELOVED FISH -PISCES- [COLOR SAMPLE]



金属の魚たちの絵です。魚の鱗やヒレのパーツごとにグラデーションを入れるとぐっと表情が出ます。サンプルでは魚を銅などの金属色でぬっていますが、他の色でカラフルに仕上げても綺麗だと思います。

TOOLS

色鉛筆・コピック



ADORATION - RUBY - [COLOR SAMPLE]



細かい面が多いですが、ふわっと適当に色を置いてもキラキラとした雰囲気に見えるようになっています。細かい飾りは金属のような質感でぬったり、明るい色をベタッと置いたり、お好みのぬり方で楽しんでください。

TOOLS

デジタル



MY CONTRARIAN, UNIQUE DREAM -AQUARIUS- [COLOR SAMPLE]



ハイライトをくっきり残して影色を強めに、コントラストを意識すると金属っぽい質感を表現できます。色鉛筆で雲や布をぬるときは、コントラストを弱くして、くると丸い筆跡を意識すると柔らかさが出ます。

TOOLS

色鉛筆



## ぬり絵のコツ 色鉛筆で仕上げる

色鉛筆はぬり絵がはじめての人でも使いやすい画材です。メーカーやブランドによって芯の硬さや太さ、色の出方などが違うので、自分が使いやすいものを選んでみてください。また、色鉛筆には水性と油性がありますが、本書では油性の色鉛筆を使ったぬり絵のコツを紹介しています。



色鉛筆 NO.36色セット (左)  
色辞典 36色セレクトセット (右)  
発売元: 株式会社トンボ鉛筆



### ◎ 基本のぬり方



細かい部分は、色鉛筆の芯を削って尖らせ、芯を立てるようにしてぬります。



広い面積をぬるときは、色鉛筆を寝かせて持ち、芯の側面でもると色が均一になります。

### ◎ ぬりはじめ



筆圧を弱めにして、色の出方を確認しながら薄くぬりはじめます。色が薄ければ色鉛筆の種類によっては消しゴム



で消せるので、ぬり直しもしやすいです。色を濃くしたいときは、色鉛筆を往復させるようにしてぬります。

### ◎ グラデーション



単色で濃淡をつけたり、複数の色を段階的に変化させることで、立体感を出すことができます。

### ◎ グラデーション(単色)



単色でグラデーションを作るときは、まず薄くぬりはじめます。



濃くしたい部分に色をぬり重ねます。筆圧の強弱やぬり重ねる回数で濃淡を調整します。

### ◎ グラデーション(混色)



複数の色を使うときは、使用する色の中で一番薄い色(ここでは黄色)をベースとして全体にぬります。



次の色をぬり重ねます。色の境い目の部分は薄くぬり重ねて、色の詰まりが出るようにします。



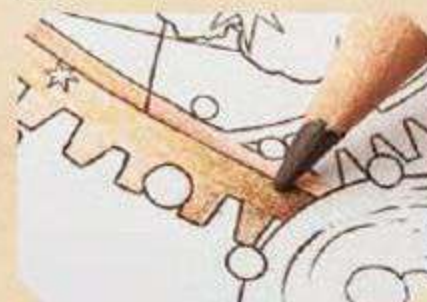
同様に、三番目の色をぬり重ねます。黄色、黄緑、青のグラデーションができました。

### ◎ 余白の効果



全てぬり切らずに、あえて白い部分を残すと、光が当たっている様子を表現できたり、画面をスッキリ見せたりすることができます。

### ◎ 影の表現



影の色は最初にぬった色に近い色、また少し濃い色にすると、自然な印象になります。